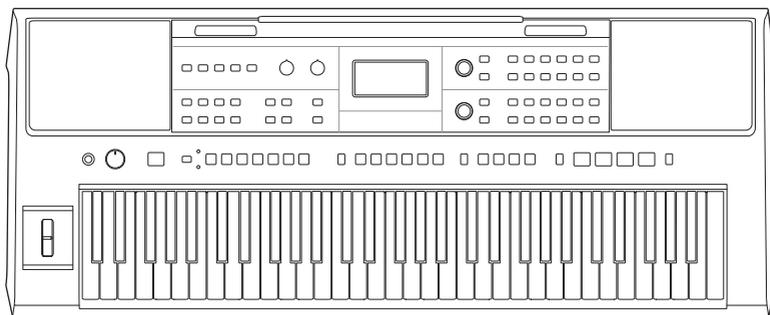

電子キーボード

取扱説明書

PSR-E483



このたびは、ヤマハ電子キーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器は、豊富な音色や便利な機能で演奏をお楽しみいただける電子キーボードです。本書をよくお読みになって、この楽器に搭載された機能を十分にご活用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

ご使用の前に必ず 6～11 ページの「安全上のご注意」をお読みください。

兼保証書 保証規定は巻末にあります。

説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

■製品に付属

- 取扱説明書(本書)

この楽器の基本的な機能や使い方を説明しています。最初にお読みください。

■ウェブサイト提供

- リファレンスマニュアル

この楽器のすべての機能について、詳しく説明しています。

- データリスト

この楽器に掲載しているボイス、スタイルなどのリストやMIDIに関する資料を掲載しています。

- スマートデバイス接続マニュアル

楽器をスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続する方法などを説明しています。

- MIDI入門

MIDIについての基礎知識を説明しています。



上記説明書は、下記のヤマハウェブサイトからご覧いただけます。

<https://manual.yamaha.com/mi/rt/psr-e483/downloads/>

ソングデータ/ソングブックのダウンロード

この楽器で再生できるソングデータとソングブックを上記ウェブサイトから無料でダウンロードできます。ぜひご活用ください。



ソングデータ

この楽器で再生できる曲データです。



ソングブック

ソングデータの楽譜が記載されています。

■動画マニュアル

この楽器の使い方を説明した動画マニュアルを用意しています。



下記のヤマハウェブサイトからご覧いただけます。

<https://manual.yamaha.com/mi/rt/psr-e483/videos/>

表記上の決まり

 警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
ご注意	「製品の故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。
 NOTE	知っておくとよい補足情報です。

付属品(お確かめください)

取扱説明書(本書) ×1

電源アダプター ×1

和文シート ×1

譜面立て ×1

もくじ

説明書について	2
表記上の決まり	2
付属品(お確かめください)	2
こんなことができます(基本編)	4
こんなことができます(応用編)	5
安全上のご注意	6
ご使用前の準備	12
電源の準備	12
電源を入れる/切る	13
譜面立ての取り付け方	13
和文シートを使う	13
各部の名称と機能	14
基本操作	19
画面の見かた	19
項目を選択する/数値を設定する	20
いろいろなボイス(楽器音色)で弾く	21
ボイス(メインボイス)を選んで弾く	21
もう一つのボイス(デュアルボイス)を重ねる	21
左手と右手とで別のボイス(スプリットボイス)を弾く	21
自動伴奏機能を使いながら演奏する(スタイル)	22
コードを自動再生する(オートコードプレイ)	22
コードを自分で弾きながら演奏する	23
好みの設定を記録する/呼び出す(レジストレーションメモリー)	24
パネル設定をレジストレーションメモリーに記録する	24
記録したレジストレーションメモリーを呼び出す	24
自分の演奏を録音する	25
この楽器での録音方式	25
ユーザーソングを新規録音する(MIDI録音)	25
USBフラッシュメモリーにオーディオファイルを録音する	26
ソング(MIDIデータ)やオーディオファイルを再生する	27
ソング(MIDIデータ)を再生する	27
USBフラッシュメモリー内のオーディオファイルを再生する	28
USBフラッシュメモリーを接続する	29
USBフラッシュメモリー内のファイルを操作する	30
機能設定(FUNCTION)	31
機能設定の基本操作	31
バックアップと初期化	36
バックアップされるデータや設定	36
楽器を初期化する	36
困ったときは	36
仕様	38
索引	40

こんなことができます(基本編)

弾きたい曲に合わせていろいろな音で演奏する

21ページ

- ◆ ピアノだけでなく、ギターやフルートなど860種類のボイス*で弾けます。
- ◆ 2つのボイスを重ねたり(デュアル)、右手と左手で違うボイスで演奏ができます(スプリット)。

* ボイスとは、楽器音色のことです。



自動伴奏機能(スタイル)を使って、伴奏付きの演奏を楽しむ

22、23ページ

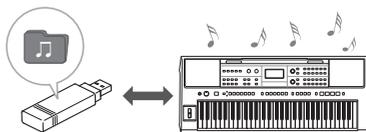
- ◆ ポップス、ロック、ダンス、ラテン等、いろいろなジャンルの伴奏があり、あらゆるジャンルの音楽を演奏できます(スタイル)。
- ◆ スタイルにはリズムだけでなく、ベースやコードにあたるパートが含まれるため、一人でもバンドやオーケストラのような演奏ができます。
- ◆ 左手でコードを弾くことなく、自動で再生するコード進行に合わせて右手だけで演奏できます(オートコードプレイ)。



演奏を録音/再生する

25、26、27、28ページ

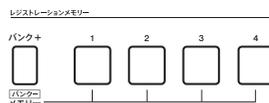
- ◆ MIDIとオーディオの2つのファイル形式で録音・再生できます。
- ◆ 演奏を楽器本体に録音したり、USBフラッシュメモリーに演奏データを保存できます。
- ◆ 録音した伴奏を再生しながら演奏して楽しんだり、再生したものと合わせて練習に役立てたりできます。



好みの設定を呼び出す/記録する(レジストレーションメモリー)

24ページ

- ◆ 演奏したい音楽に合わせてパネル設定(ボイスやスタイルなどの設定)を32種類まで記録できます。
- ◆ 記録したレジストレーションメモリーは、演奏中でもワンタッチで呼び出したり、切り替えたりして、音楽の流れに合わせた演奏ができます。



様々な機能を使って音を変化させる

- ◆ ギターのスクラッチノイズなど、アコースティック楽器特有の奏法を再現できます(スーパーアーティキュレーションライトボイス)。
- ◆ 鍵盤を押さえるだけで、自動で分散和音を鳴らすことができます(アルペジオ)。
- ◆ 鍵盤演奏やスタイル、マイク入力音などに効果をかけ、表現の幅を広げることができます(DSP1、DSP2)。
- ◆ フィルター効果、ピッチ効果、モジュレーション効果など、演奏中ボタンを押している間だけ効果を加えることができます(モーションエフェクト)。
- ◆ 2つのノブを使ってリアルタイムで音を変化させることができます。
- ◆ ホイールを使ってピッチ(音程)を変化できます(ピッチベンド)。
- ◆ 全体の音量を上げて目立たせることができます(メガブースト)。

マイクを接続して楽しむ

- ◆ 歌声にリバーブやコーラスをかけて、弾き語りを楽しめます。
- ◆ 演奏の合間のトークに使うことができます。

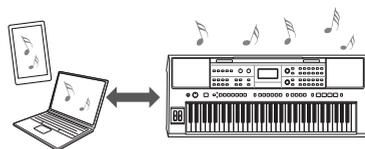


オリジナルの演奏素材が作れる

- ◆ 外部からの音を取り込んで演奏にアクセントを付けることができます(クイックサンプリング)。
- ◆ 重ね録りをしてオリジナルのループフレーズを作れます(ルーパー機能)。

コンピューターやスマートデバイスと接続して楽しむ

- ◆ コンピューターやスマートデバイス上の曲データを楽器で再生できます。
- ◆ アプリ「Rec'n'Share」を使うと、スマートデバイスと楽器を接続して、お気に入りの楽曲にあわせて演奏を手軽に録音・撮影・シェアすることができます。
- ◆ 「MIDI Song to Style」は、MIDIソングをスタイルファイルに変換できるアプリケーションです。変換したスタイルファイルを楽器に転送すると内蔵しているスタイルのように使えます。



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



警告

電源



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。感電の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがああります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源アダプター / プラグは、必ず付属のものを使用する。

火災、やけど、または故障の原因になります。



付属の電源アダプター / プラグをほかの機器に使用しない。
火災、やけど、または故障の原因になります。

禁止



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。
ショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



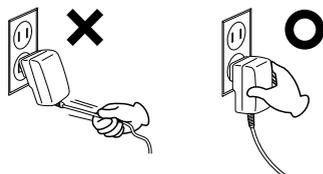
禁止

たこ足配線をしなない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりして火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になります。



電源プラグを抜く

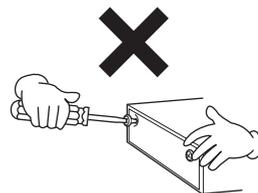
長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
火災や故障の原因になります。

分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

電池



禁止

- 電池を火の中に入れてない。
- 電池を下記の場所に置かない。
 - 直射日光のあたる場所(日中の車内など)や火の近くなど極端に温度が高くなる場所
 - 温度や気圧が極端に低い場所
 - ほこりや湿気の多い場所

破裂や爆発により、火災やけがの原因になります。



禁止

- 電池を分解しない。
火災、発熱、破裂、爆発、液漏れの原因になり、やけどやけがなどのおそれがあります。



禁止

- 指定(39ページ)以外の電池を使用しない。
- 電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。
- 種類の異なる電池(アルカリとマンガン、メーカーが異なるもの、メーカーが同じでも商品が違うものなど)を一緒に使用しない。
- +/-の極性表示とは異なった方向に電池を入れない。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体に入れたままにしない。

発熱、火災、液漏れ、故障の原因になり、やけどやけがなどのおそれがあります。



禁止

- 使い切りタイプの乾電池は充電しない。
破裂や液漏れの原因になり、けがなどのおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず実行

充電式電池を使用する場合は、電池のマニュアルの指示に従い、指定された充電器、指定された温度の範囲内で充電する。

誤った充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。



禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。

火災、感電、故障の原因になります。



禁止

電池を意図的にショートさせない。
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片を一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。

接続



必ず実行

接続する機器のマニュアルを必ず読み、記載されている内容に従う。従わない場合、火災、発熱、破裂、故障の原因になる可能性があります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。電池を使用している場合は、電池を本製品から抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末の修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



注意

設置



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげがをしったりする原因になります。



必ず実行

本製品を移動する前に、必ずすべての接続ケーブルを外す。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本製品が転倒し破損したり、お客様やほかの方々がかげがをする原因になります。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切ってから行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本製品のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。
聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



禁止

本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本製品のお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ] (スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[Ⓛ] (スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(1003-M06 plate bottom ja 01)

使用上のご注意

「製品の故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。以下の内容をよく読んでお使いください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンしてお使いいただくことをおすすめします。
- 使用環境により、強い電波の影響を受けると、まれに楽器が誤動作することがあります。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります（5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています）。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(36ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリー/コンピューターなどの外部機器に保存してください(29ページ)。USBフラッシュメモリーを使う前には、必ず29ページをお読みください。
- データを保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリー/コンピューターなどの外部機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- この製品に搭載されている「コンテンツ」*1の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属しません。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」*2することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

*1: 「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

*2: 「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

■ データに関するお知らせ

- ヤマハの製品サイトからダウンロードするソングデータは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 製品の外観について

- 製品に線やキズが入っているように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線(ウエルドライン)であり、ヒビやキズではありません。製品の使用上まったく問題ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- MIDIは一般社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 廃棄に関するお知らせ

- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
- 使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄してください。

ご使用前の準備

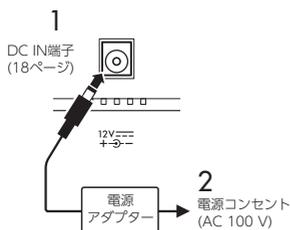
電源の準備

この楽器の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、電源アダプターのご使用をおすすめします。

電源アダプターを使う

ご使用前に、安全上のご注意「電池」の項目(6ページ)をお読みください。

図の順序で電源アダプターを接続します。



電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。

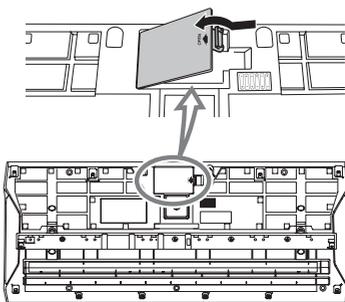
警告

- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないよう注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また異物が入らないようご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。プラグを差し込む手順の詳細は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアル(本書2ページ)をご覧ください。

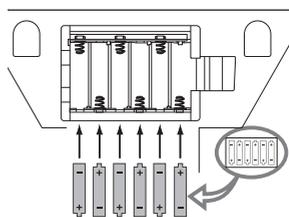
電池を使う

この楽器は、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できます。ただし、使い方により大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池または充電電池のご使用をおすすめします。ご使用前に、安全上のご注意「電池」の項目(8ページ)をお読みください。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 3 電池6本を入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 4 電池カバーを閉めます。

ご注意

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターのDCプラグを抜き差ししないでください。電源が一時的に切れて録音中や転送中のデータが失われます。

NOTE

- 電池が本体に入っている状態でも、電源アダプターが接続されている場合は、電源アダプターが電源として使われます。

■ 充電式ニッケル水素電池を使う場合

楽器の電源を入れたあと、機能設定 (35ページ、機能番号079) で電池の設定を変更します。

初期設定：アルカリ乾電池/マンガン乾電池

ご注意

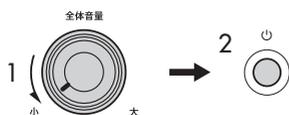
- 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化が早まり、電池の使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

■ 電池の残量表示

画面のアイコンで確認できます。

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

電源を入れる/切る



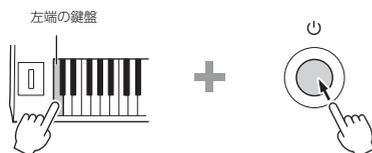
- 1 [全体音量] (MASTER VOLUME)コントロールを左に回し、音量を最小にします。
- 2 [⏻] (スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。
- 3 鍵盤を弾いて音を確認しながら、[全体音量] (MASTER VOLUME)コントロールを左右に回して全体音量を調節します。
- 4 電源を切るには、[⏻] (スタンバイ/オン)スイッチを1秒ほど押しします。

オートパワーオフ機能

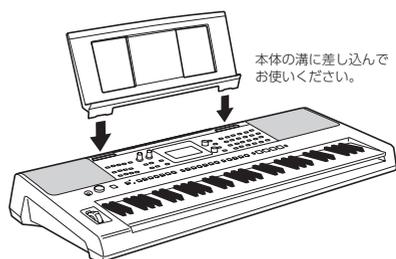
この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源が切れるまでの時間は、初期設定では15分ですが、変更することもできます (35ページ、機能番号078)。

■ オートパワーオフ機能の簡単解除

左端の鍵盤を押したまま電源を入ると、オートパワーオフ機能が解除された状態で電源がオンになります。

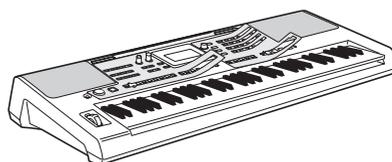


譜面立ての取り付け方



和文シートを使う

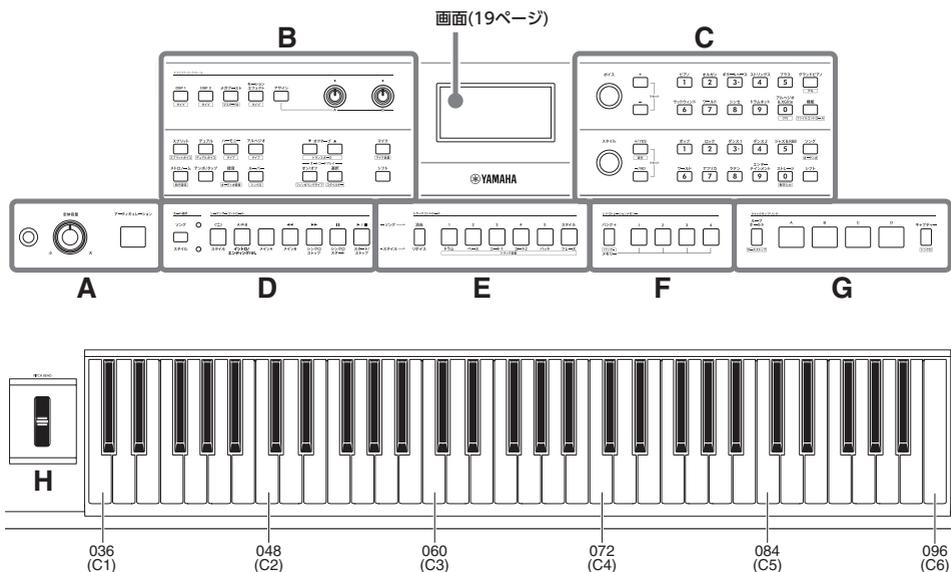
付属の和文シートをパネルに載せてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



各部の名称と機能

■ トップパネル

(和文シートを載せた状態)



各鍵盤には番号(例036)と音名(例C1)が割り当てられています。これらは機能設定で使います。

* : ヤマハウェブサイト(本書2ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

で囲まれたボタン名について(シフト機能)

[シフト] (SHIFT) ボタンを押したままボタンを操作すると、その枠内に書かれた機能が実行されます。たとえば、[シフト] (SHIFT) ボタンを押したまま [マイク] (MIC) ボタンを押すと、マイク音量 設定画面が呼び出されます。

シフト + マイク → マイク音量

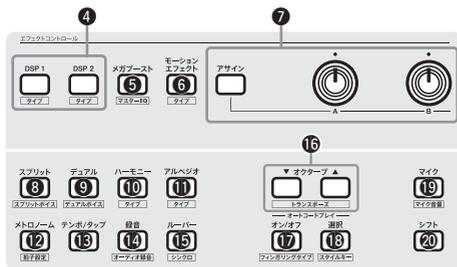
押したまま

A



- ① [⏻] (スタンバイ/オン)スイッチ 13ページ
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。
- ② [全体音量] (MASTER VOLUME)コントロール 13ページ
楽器全体の音量を調節します。
- ③ [アーティキュレーション] (ARTICULATION)ボタン
押したまま鍵盤を弾くと、各ボイス専用の奏法を再現します。

B



エフェクトコントロール (EFFECT CONTROL)

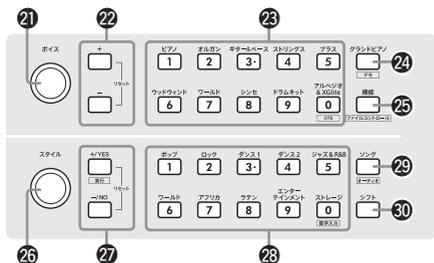
- 4 [DSP1]、[DSP2]ボタン** 
DSP1効果、DSP2効果をオン/オフします。
タイプ：効果タイプの選択画面を呼び出します。
- 5 [メガブースト] (MEGA BOOST)ボタン** 
楽器の音量を上げます。
マスターEQ：マスターEQタイプ選択画面を呼び出します。
- 6 [モーションエフェクト] (MOTION EFFECT)ボタン** 
押し続けている間、演奏音にさまざまな効果がかかります。
タイプ：モーションエフェクトタイプの選択画面を呼び出します。
- 7 [アサイン] (ASSIGN)ボタン、[A]/[B]ノブ** 
ノブに機能を割り当て、サウンドをコントロールします。

その他、サウンドなどのコントロール

- 8 [スプリット] (SPLIT)ボタン** 21ページ
鍵盤全体を2つの領域に分けて、右手と左手で異なるボイスを鳴らせます。
スプリットボイス：左手で鳴らすボイスの選択画面を呼び出します。
- 9 [デュアル] (DUAL)ボタン** 21ページ
2つの異なるボイスを重ねて鳴らします。
デュアルボイス：重ねて鳴らすボイスの選択画面を呼び出します。
- 10 [ハーモニー] (HARMONY)ボタン** 
ハーモニー効果をオン/オフします。
タイプ：ハーモニータイプの選択画面を呼び出します。
- 11 [アルペジオ] (ARPEGGIO)ボタン** 
アルペジオ機能をオン/オフします。
タイプ：アルペジオタイプの選択画面を呼び出します。

- 12 [メトロノーム] (METRONOME)ボタン** 
メトロノームをオン/オフします。
拍子設定：メトロノームの拍子設定画面を呼び出します。
- 13 [テンポ/タップ] (TEMPO/TAP)ボタン** 
テンポ設定画面を呼び出します。
- 14 [録音] (REC)ボタン** 25ページ
演奏を楽器本体にMIDI録音します。
オーディオ録音：演奏をUSBフラッシュメモリーにオーディオ録音します(26ページ)。
- 15 [ルーパー] (LOOPER)ボタン** 
ルーパー録音や再生に使用します。
シンクロ：ルーパー機能のシンクロをオンにします。再生開始のタイミングをスタイルやソングと合わせます。
- 16 オクターブ (OCTAVE) [▼][▲]ボタン** 
メインボイスおよびデュアルボイスのピッチ(音高)を1オクターブ単位で上げ下げします。
トランスポーズ：楽器全体のピッチ(音高)を半音単位で移調します。
- 17 オートコードプレイ [オン/オフ] (AUTO CHORD PLAY [ON/OFF])ボタン** 22ページ
コードを自動再生する機能(オートコードプレイ)をオン/オフします。
フィンガリングタイプ：フィンガリングタイプ(コードの指定方法)の選択画面を呼び出します。
- 18 オートコードプレイ [選択] (AUTO CHORD PLAY [SELECT])ボタン** 22ページ
オートコードプレイタイプの選択画面を呼び出します。
スタイルキー：スタイルキー(演奏曲の調)の設定画面を呼び出します。スタイルキーは、オートコードプレイ機能の使用時やフィンガリングタイプが「スマートコード」のときに使われます。
- 19 [マイク] (MIC)ボタン** 
マイクタイプ(ボーカル/トーク/ミュート)を切り替えます。
マイク音量：マイク音量調節画面を呼び出します。
- 20 [シフト] (SHIFT)ボタン** 14ページ
このボタンを押したまま他のボタンを押すことで、そのボタンの2つめの機能を呼び出せます。このボタンだけを押し、各種設定画面からホーム画面(19ページ)に戻ります。

C



上段のコントロール

21 [ボイス] (VOICE)ダイヤル 20ページ
ボイスまたは画面上段のパラメーターを選びます。

22 [+], [-]ボタン 20ページ
ボイスまたは画面上段のパラメーターを選びます。
2つのボタンを同時に押すと初期設定値に戻ります。

23 ボイス (VOICE)カテゴリーボタン 20ページ
お好みのボイスカテゴリーを選びます。[数字入力] (28) がオンのときは、数字入力に使用します。
[OTS] : 現在選ばれているスタイルに最適なボイスやパネル設定を呼び出します。

24 [グランドピアノ] (PORTABLE GRAND)ボタン

ボイスがグランドピアノになります。
[デモ] : デモソングを連続再生します。

25 [機能] (FUNCTION)ボタン 31ページ
機能設定画面を呼び出します。

[ファイルコントロール] : ファイルコントロール画面(USBフラッシュメモリーの操作画面)を呼び出します。(30ページ)

下段のコントロール

26 [スタイル] (STYLE)ダイヤル 19, 20, 22ページ
スタイルまたは画面下段のパラメーターを選びます。

27 [+ / YES]、[- / NO]ボタン 19, 20ページ
スタイルまたは画面下段のパラメーターを選びます。
2つのボタンを同時に押すと初期設定値に戻ります。
[実行] : ファイルコントロールを実行します。(30ページ)

28 スタイル (STYLE)カテゴリーボタン 20ページ
お好みのスタイルカテゴリーを選びます。
NUM LOCKがオンのときは、数字入力に使用します。

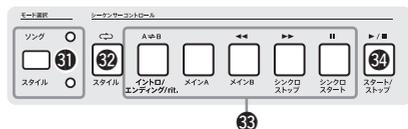
[数字入力] : NUM LOCK (カテゴリーボタンを使って数字入力する状態)をオン/オフします。

29 [ソング] (SONG)ボタン 28ページ
再生するソングを選ぶ画面を呼び出します。

[オーディオ] : USBフラッシュメモリー上のオーディオファイルを選ぶ画面を呼び出します。

30 [シフト] (SHIFT)ボタン 14ページ
このボタンを押したまま他のボタンを押すことで、そのボタンの2つめの機能呼び出せます。このボタンだけを押し、各種設定画面からホーム画面(19ページ)に戻ります。

D



モード選択 (MODE SELECT)

31 モード選択(MODE SELECT)ボタン 19ページ
ソングモードとスタイルモードを切り替えます。選ばれているモードのランプが点灯します。

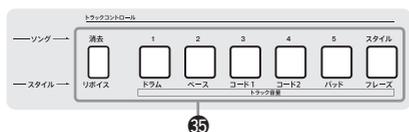
シーケンサーコントロール (SEQUENCER CONTROL)

32 [↔]/[スタイル] (ACMP)ボタン
ソングモード : ユーザーソング(25ページ)のくり返し再生をオン/オフします。
スタイルモード : 自動伴奏(ACMP)をオン/オフします。 23ページ

33 再生コントロールボタン
スタイルまたはソングの再生をコントロールします。

34 [▶ / ■]/[スタート/ストップ] (START STOP)ボタン 22ページ
ソングやスタイルの再生を開始/停止します。

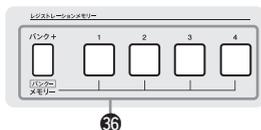
E



トラックコントロール (TRACK CONTROL)

- 35** **トラックコントロールボタン**
再生時のソングやスタイルの各トラックをミュートします。
また、録音済みのソングのトラックを個別に消去したり、スタイルの各トラックのボイスを変更(リボイス)したりできます。
トラック音量 : 各トラックの音量を設定する画面を呼び出します。

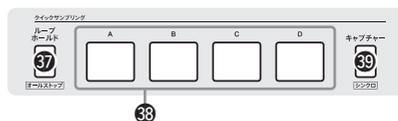
F



レジストレーションメモリー (REGISTRATION MEMORY)

- 36** **レジストレーションメモリーボタン** 24ページ
パネル設定*を保存したり、呼び出したりします。

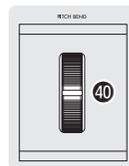
G



クイックサンプリング (QUICK SAMPLING)

- 37** **[ループホールド] (LOOP HOLD)ボタン**
このボタンを押したまま[A] ~ [D]パッドを押すと、サンプルがくり返し再生されます。
オールストップ : すべてのサンプルの再生を停止します。
- 38** **[A] ~ [D]パッド**
サンプルを再生します。
- 39** **[キャプチャー] (CAPTURE)ボタン**
クイックサンプリングモードに入ります。
シンクロ : サンプル再生のシンクロをオンにします。再生開始のタイミングをスタイルやソングと合わせます。

H



- 40** **ピッチベンド(PITCH BEND)ホイール**
ホイールを上下に動かして鍵盤演奏音のピッチ(音高)を滑らかに上げ下げします。

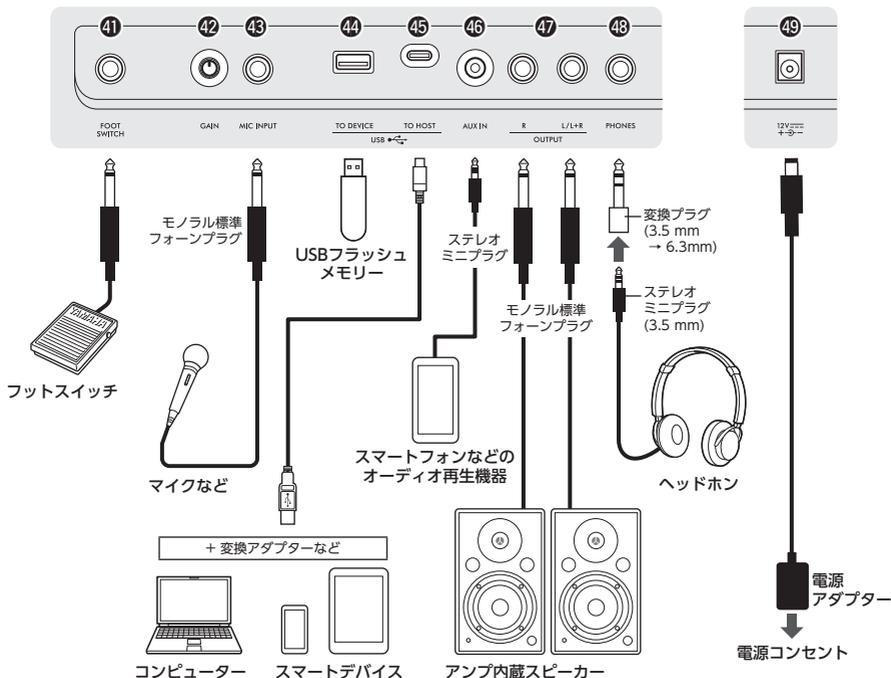
パネル設定

ここで説明したように、パネル上のボタンを使ってさまざまな設定ができます。これらの設定をまとめて「パネル設定」と呼びます。

■ リア(背面)パネル

接続例

接続する機器により、使用するケーブルは異なります。



41 [FOOT SWITCH]端子.....

別売のフットスイッチを接続します。

42 [GAIN]ノブ.....

マイクの入力レベルを調整します。

43 [MIC INPUT]端子.....

マイクを接続します。

44 [USB TO DEVICE]端子 (USB Type-A).....

USBフラッシュメモリーを接続します。

45 [USB TO HOST]端子 (USB Type-C™).....

コンピューターやスマートデバイスと接続します。

ご注意

- USBケーブルは、A-CタイプまたはC-Cタイプで、3メートル未満のものをご使用ください。
- 接続方法の詳細は、ヤマハウェブサイト(本書 2 ページ)上の「スマートデバイス接続マニュアル」や「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

46 [AUX IN]端子.....

オーディオ再生機器を接続します。

47 OUTPUT [L/L+R], [R]端子.....

アンプ内蔵スピーカーを接続します。

48 [PHONES]端子.....

ヘッドホンを接続します。

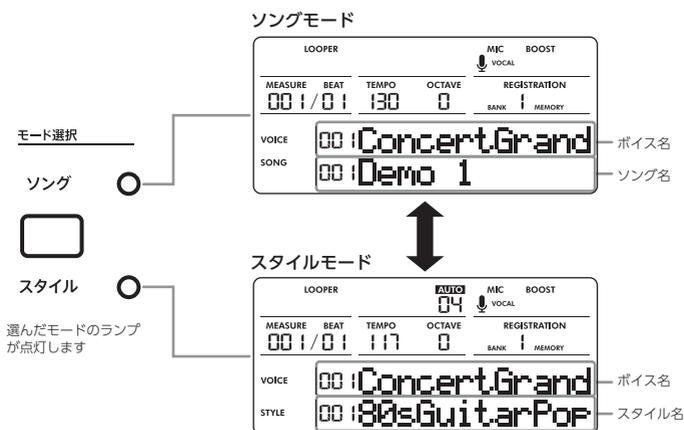
49 DC IN端子..... **12ページ**

電源アダプターを接続します。

基本操作

画面の見かた

電源を入れたときは、画面の上段にボイス名(VOICE)、下段にスタイル名(STYLE)が表示されます。下段は、モード選択(MODE SELECT)ボタンを押すたびにソング名とスタイル名が交互に表示されます。

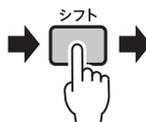
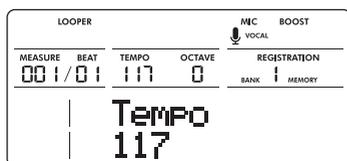


ホーム画面：上記イラストのように、上段にボイス名、下段にソング名またはスタイル名が表示された画面を「ホーム画面」と呼びます。

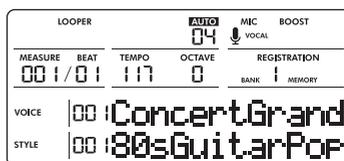
ホーム画面に戻る

機能設定画面(31ページ)やテンポ設定画面からホーム画面に戻るには、[シフト] (SHIFT)ボタンを押します。

例：テンポ設定画面



ホーム画面

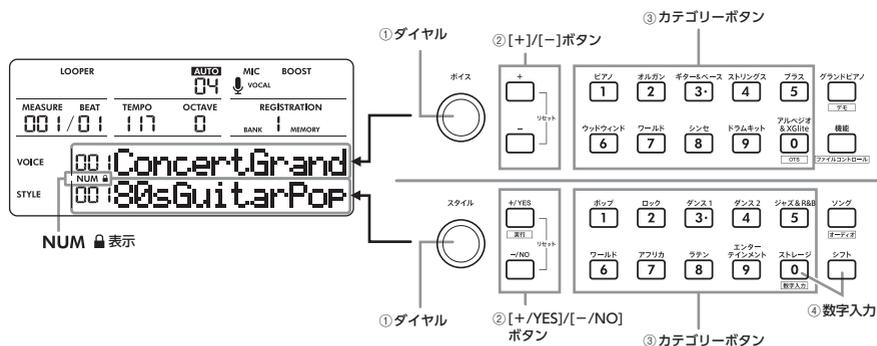


項目を選択する/数値を設定する

スタイルやボイス、テンポ、機能などの項目を、共通の操作で設定できます。
スタイルやボイスのリストは、ウェブサイト上のデータリスト(本書2ページ)をご覧ください。

画面の上段の項目は、上段のボタン群で設定します。

画面の下段の項目は、下段のボタン群で設定します。



項目を選ぶ方法は、次の4種類です。

- ① ダイヤルで選ぶ
- ② [+]/[-]ボタン、または[+ / YES] / [- / NO]ボタンで選ぶ
- ③ カテゴリーボタンで選ぶ(ボイス、スタイルのみ)
カテゴリーボタンを押すたびに、カテゴリー内で順番に切り替わります。
- ④ 数字入力で選ぶ
[シフト] (SHIFT)ボタンを押したまま[ストレージ] (STORAGE)ボタンを押すと、画面に「NUM 0」が表示され、カテゴリーボタン[1]~[0]を数字入力ボタンとして使えるようになります。

※ ボイス、スタイル以外の各種設定では常にカテゴリーボタンが数字ボタンとして使えます。

本書では、項目を選んだり、数値を変更したりする操作を、① ダイヤルで選ぶ方法で説明します。

表示中の項目をリセットする(初期値に戻す)

[+]/[-]ボタン、または[+ / YES] / [- / NO]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
たとえばボイスやスタイルの場合は、それぞれ001番に戻ります。

いろいろなボイス(楽器音色)で弾く

ピアノ以外にもいろいろなボイスを選んで演奏できます。また、ひとつのボイス(メインボイス)を鳴らすだけでなく、もうひとつ別のボイス(デュアルボイス)を重ねて鳴らしたり、鍵盤を左右に分けて左手と右手とで別のボイス(スプリットボイス)を弾いたりできます。

ボイス(メインボイス)を選んで弾く

- 1 [ボイス] (VOICE)ダイヤルを回して、鳴らしたいボイスを選びます(20ページ)。

各ボイスの特徴

001 ~ 322	いろいろな楽器の音です。
323 ~ 362	ドラムや打楽器などの音や、効果音などが鍵盤に割り振られています。
363 ~ 402	アルペジオ演奏(5ページ)が楽しめるボイスです。このボイスを選ぶと、自動的にアルペジオがオンになります。
403 ~ 860	ヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版の音、XGliteボイスです。
000	フンタッチセッティング(OTS) この番号を選ぶと、選ばれているスタイル(22ページ)に最適なボイスやパネル設定(17ページ)が自動的に選ばれます。

NOTE

- ボイスの番号や名称については、ウェブサイト上のデータリスト(本書2ページ)をご覧ください。

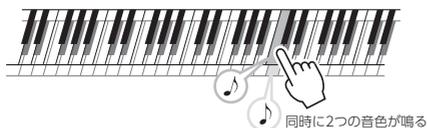
- 2 鍵盤を弾いてみましょう。

もう1つのボイス(デュアルボイス)を重ねる

- 1 [デュアル] (DUAL)を押してデュアル機能をオンにします。



- 2 鍵盤を弾いてみましょう。



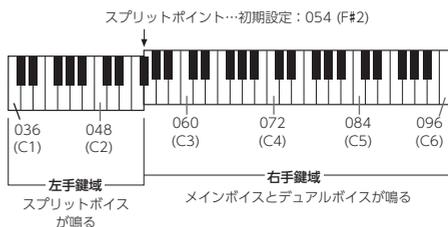
- 3 デュアル機能をオフにするには、もう一度 [デュアル] (DUAL)ボタンを押します。

デュアルボイスを変更する

[シフト] (SHIFT)ボタンを押したまま、[デュアル] (DUAL)ボタンを押すと、デュアルボイス選択画面が表示されます。

左手と右手とで別のボイス(スプリットボイス)を弾く

鍵盤全体を2つの領域に分けて、左手と右手で違うボイスを鳴らせます。



左手鍵域と右手鍵域の境目を「スプリットポイント」と呼びます。スプリットポイントに当たる鍵盤は左手鍵域に属します。

- 1 [スプリット] (SPLIT)ボタンを押してスプリット機能をオンにします。

鍵盤が左手鍵域と右手鍵域に分割されます。

- 2 鍵盤を弾いてみましょう。



- 3 スプリット機能をオフにしたい場合は、もう一度 [スプリット] (SPLIT)ボタンを押します。

スプリットボイスを変更する

[シフト] (SHIFT)ボタンを押したまま、[スプリット] (SPLIT)ボタンを押すと、スプリットボイス選択画面が表示されます。

スプリットポイントを変更する

[スプリット] (SPLIT)ボタンを押したまま、スプリットポイントにしたい鍵盤を押すと変更できます。

自動伴奏機能を使いながら演奏する(スタイル)

自動伴奏(スタイル)とは、コードに合う伴奏(リズム+ベース音+コード音)が自動で付く機能です。まずは「オートコードプレイ」でスタイルがどんなものかを体感してみましょう。その後、自分でコードを弾いて演奏してみましょう。

コードを自動再生する(オートコードプレイ)

オートコードプレイは、コードを自分で弾くことなく、コード進行(コードの流れ)を体感できる機能です。コード名が画面に表示されますので、コード進行を覚えたり、伴奏に合わせて右手でメロディーを弾いたりしてみましょう。

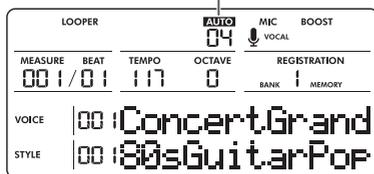
- 1 モード選択(MODE SELECT)ボタンを押してスタイルモードにします。



- 2 オートコードプレイ [オン/オフ] (AUTO CHORD PLAY [ON/OFF])ボタンを押して、**AUTO** アイコンを点灯させます。



AUTO 点灯



- 3 [スタイル] (STYLE)ダイヤルを回して、お好みのスタイルを選びます(20ページ)。
- 4 お好みのコード進行のオートコードプレイタイプを選びます。

オートコードプレイ [選択] (AUTO CHORD PLAY [SELECT]) ボタンを押して機能設定画面(32ページ、機能番号033)を表示させ、[スタイル] (STYLE)ダイヤルで選びます。
オートコードプレイタイプは、データリストをご覧ください。



オートコードプレイタイプ

- 5 [スタート/ストップ] (START/STOP)ボタンを押します。

コードが自動的に進行し、そのコードに合った伴奏が鳴ります。



- 6 [スタート/ストップ] (START/STOP)ボタンを押してスタイルをストップします。

- 7 オートコードプレイを終了するには、オートコードプレイ [オン/オフ] (AUTO CHORD PLAY [ON/OFF])ボタンを押して、**AUTO** アイコンを消灯させます。

オートコードプレイのコードを編集する

自分の弾きたい曲が、内蔵のオートコードプレイタイプに合わない場合、自分でオートコードプレイのコードを編集することができます。

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

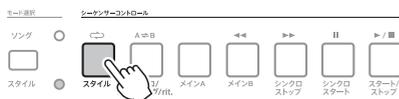
コードを自分で弾きながら演奏する

- 1 モード選択(MODE SELECT)ボタンを押してスタイルモードにします。

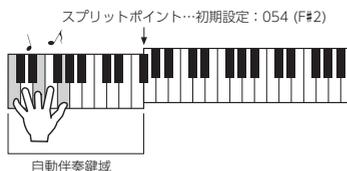


- 2 シーケンサーコントロール [スタイル] (ACMP) ボタンを押します。

[スタイル] (ACMP) ボタンが点灯します。

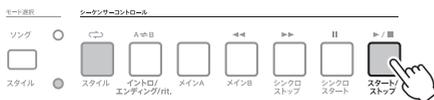


スプリットポイントと、その左側の左手鍵域が、コードだけを認識する「自動伴奏鍵域」になります。



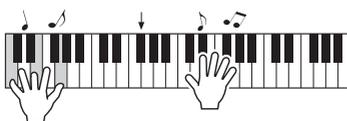
- 3 [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押します。

リズムパートだけがスタートします。



- 4 自動伴奏鍵域で、コードを弾いてみましょう。

リズムパートに加え、ベース音とコード音が鳴ります。左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディーを弾いてみましょう。



- 5 [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押してスタイルをストップします。

スタイルに変化をつける

スタイルは、イントロ、メインA/B、フィルイン、エンディングのセクション(伴奏パターン)でできています。セクションを切り替えると、演奏に変化を付けたり、イントロやエンディングを付けたりできます。

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

コードの弾き方を変更する

コードの弾き方(フィンガリングタイプ)を、コードの構成音をすべて押さえる弾き方(マルチフィンガー)から、指一本で鍵盤を押さえてコードを指定する弾き方(スマートコード)に変更できます。

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

好みの設定を記録する/呼び出す(レジストレーションメモリー)

レジストレーションメモリーは、ボイスやスタイルなど、パネル設定をボタンに登録し、演奏中でもワンタッチで呼び出せる機能です。4つのレジストレーションメモリーボタンに登録した設定を1バンクとして扱い、8バンク登録できます。

NOTE

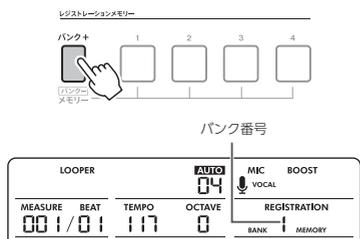
- お買い上げ時には、バンク1～8に設定例が登録されています。



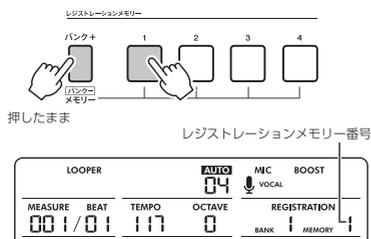
32種類(8バンク×4)の設定を記録できる

パネル設定をレジストレーションメモリーに登録する

- 1 本体の設定(ボイス、スタイルなど)を、記録させたい状態にします。
- 2 [バンク+] (BANK+)ボタンを押して、バンク番号(1～8)を選びます。



- 3 [バンク+] (BANK+)ボタンを押したまま、[1]～[4]ボタンを押します。



画面のレジストレーションメモリー番号が点滅します。設定が保存されると、レジストレーションメモリー番号が点灯します。

ご注意

- レジストレーションメモリーに保存すると、データは上書き保存され以前のデータは消えてしまいます。誤消去防止のため、どこに何を保存したか、メモしておくことをおすすめします。

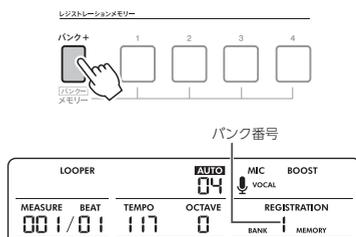
レジストレーションメモリーに登録できる設定内容

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

記録したレジストレーションメモリーを呼び出す

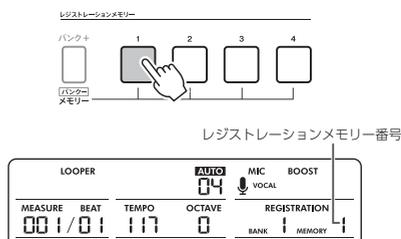
事前に呼び出したいレジストレーションのバンク番号とメモリー番号を確認します。

- 1 [バンク+] (BANK+)ボタンを押して、呼び出したいバンク番号(1～8)を選びます。



- 2 呼び出したいメモリー番号の[1]～[4]ボタンを押します。

画面で設定を確認します。



自分の演奏を録音する

この楽器での録音方式

この楽器では、以下の2つの方法で演奏を録音できます。

ソング録音(MIDI録音)

自分の演奏をMIDIデータとして、楽器の内蔵メモリーに録音します。トラック(パート)ごとに録音したり消去したりでき、編集しやすいのが特長です。この方式で録音したソングは「ユーザーソング」と呼びます。

オーディオ録音(26ページ)

演奏した音そのものを、WAV形式のオーディオファイルとして、USBフラッシュメモリーに保存します。録音したオーディオファイルは、コンピューターやスマートデバイスでも再生できます。

ユーザーソングを新規録音する(MIDI録音)

ここでは、トラックを指定せず、新しいソングとして内蔵メモリーに録音する方法を説明します。

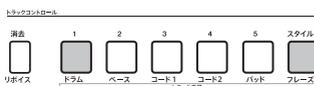
1 モード選択(MODE SELECT)ボタンを押して、ソングモードにします。



2 [スタイル] (STYLE)ダイヤルで、録音データの保存先となるユーザーソング(003 ~ 012)を選びます。

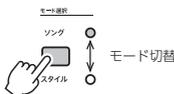
ご注意

- すでに保存先のユーザーソングに録音データがある場合、データがあるトラックコントロールボタンが点灯します。そのまま録音すると、既存のデータは上書き録音されて消えてしまいますのでご注意ください。



3 録音する内容に応じて、モードを選択します。

- メロディー演奏のみ録音: ソングモード
- スタイルを使った演奏を録音: スタイルモード



NOTE

- スタイルモードでは、選択中のスタイルデータに応じたトラックコントロールボタンが点灯します。

4 メインボイスの選択(21ページ)など、必要なパネル設定を行います。

5 [録音] (REC)ボタンを押して、録音待機状態に入ります。



録音待機状態から抜けるには、もう一度[録音] (REC)ボタンを押します。

6 鍵盤を弾くか、▶/■ボタンを押して、録音を開始します。

7 ▶/■ボタンを押すか、[録音] (REC)ボタンを押して、録音をストップします。



録音が終わると、画面に「Writing!」と表示され、データが保存されます。

ご注意

- 「Writing!」表示中に電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししないでください。データが失われます。

8 ▶/■ボタンを押して、録音した演奏を再生してみましょう(27ページ)。

録音中の制限事項

- トラック(パート)ごとに録音/消去する
- 録音する小節数を設定する
- ユーザーソングを消去する
- ユーザーソングをUSBフラッシュメモリーにMIDIファイルとして保存する

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

USBフラッシュメモリにオーディオファイルを録音する

ご注意

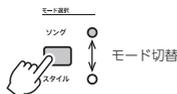
- USBフラッシュメモリをお使いになる前に、必ず「[USB TO DEVICE]端子(USB Type-A)ご使用上の注意」(29ページ)をご覧ください。

NOTE

- オーディオ録音機能を使うときは、電源アダプターをご使用ください。電池をご使用の場合は、オーディオ録音機能は使えません。

1 USBフラッシュメモリを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

2 モード選択(MODE SELECT)ボタンを押して、ソングモードかスタイルモードを選択します。



スタイルを使った演奏を録音したいときは、スタイルモードを選択します。

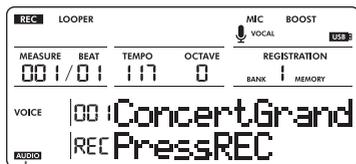
3 録音したい演奏の設定をします。

手順2で選択したモードによって、録音できるものが異なります。

- **ソングモードのとき**
鍵盤演奏、[MIC INPUT]/[AUX IN]/[USB TO HOST]端子からのオーディオ入力音
- **スタイルモードのとき**
スタイル、鍵盤演奏、[MIC INPUT]/[AUX IN]/[USB TO HOST]端子からのオーディオ入力音

4 [シフト] (SHIFT) ボタンを押したまま[録音] (REC) ボタンを押して、オーディオ録音の待機状態に入ります。

画面左下に **AUDIO** アイコンが点灯します。



AUDIO 点灯

録音待機状態から抜けるには、もう一度[シフト] (SHIFT) ボタンを押したまま、[録音] (REC) ボタンを押します。

5 [録音] (REC) ボタンを押して録音を開始します。

録音中は、画面に録音時間が表示されます。

最長録音時間は、80分またはUSBフラッシュメモリーの容量がいっぱいになるまでのいずれか短いほうです。

スタイルを録音する場合は、

[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押してスタイル演奏を再生/停止させます。

ご注意

- 録音中はUSBフラッシュメモリを抜いたり、楽器の電源を切ったりしないでください。USBフラッシュメモリ内のデータが壊れるおそれがあります。

NOTE

- 録音中に画面に表示されるメッセージの詳細は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアル(本書2ページ)をご覧ください。

6 [録音] (REC) ボタンを押して、録音をストップします。

画面に「Writing!」と表示され、演奏が保存されます。録音したオーディオファイル名が「AUDIO***」 (***) は数字) と表示されます。

ご注意

- 「Writing!」表示中に電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししないでください。データが失われます。

7 [▶/■] ボタンを押して、録音した演奏を再生してみましょう(28ページ)。

ソング(MIDIデータ)やオーディオファイルを再生する

ソング(MIDIデータ)を再生する

録音したユーザーソングや市販の曲データなど、この楽器で再生できるMIDIデータを総称して、「ソング」と呼びます。この楽器では以下のソングを再生できます。

ソング番号	ソングカテゴリ	
001 ~ 002	デモ	この楽器の魅力を満載したデモ曲です。
003 ~ 012	ユーザー	自分の演奏を録音したユーザーソング(25ページ)です。
013 ~	ダウンロード	コンピューターから楽器へ転送されたソングです。 ヤマハのウェブサイト(本書2ページ)からソングをダウンロードして楽器に転送すると、このカテゴリになります。
	USB	USBフラッシュメモリー内のソングです。2階層目までのファイルが認識されます。 ⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

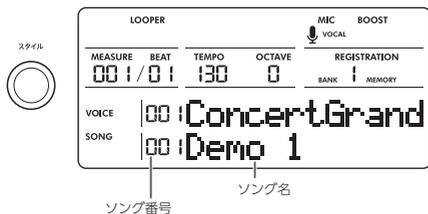
NOTE

- 013以降のソングについては、ダウンロードカテゴリのソング、USBフラッシュメモリー内のソングの順に番号が割り当てられます。コンピューターから楽器にソングを転送すると、転送したソングはUSBフラッシュメモリー内のソングの前に挿入されます。
- 容量が250KBを超えるソングは再生できません。

1 モード選択(MODE SELECT)ボタンを押して、ソングモードにします。



2 [スタイル] (STYLE)ダイヤルを回して、再生したいソングを選びます。



3 [▶/■]ボタンを押して、ソングを再生してみましょう。



4 再生をストップするには、もう一度[▶/■]ボタンを押します。

• ソングの音量を調節する

• ソングのテンポを調節する

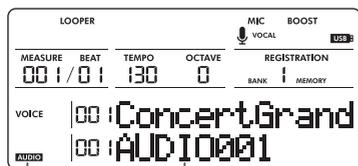
⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

USBフラッシュメモリー内のオーディオファイルを再生する

ご注意

- USBフラッシュメモリーをお使いになる前に、必ず「[USB TO DEVICE]端子(USB Type-A)ご使用上の注意」(29ページ)をご覧ください。
- オーディオファイルの再生中はUSBフラッシュメモリーを抜いたり、楽器の電源を切ったりしないでください。USBフラッシュメモリー内のデータが壊れるおそれがあります。

- 1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。
- 2 [シフト] (SHIFT) ボタンを押したまま[ソング] (SONG) ボタンを押して、**AUDIO** アイコンを点灯させます。



AUDIO 点灯 オーディオファイル名

- 3 [スタイル] (STYLE)ダイヤルを回して、再生したいオーディオファイルを選びます。
- 4 [▶/■]ボタンを押して、オーディオファイルの再生をスタートします。

再生中は、画面に「PLY」の文字と再生時間が表示されます。



再生時間

- 5 再生をストップするには、もう一度[▶/■]ボタンを押します。

オーディオファイル再生中に画面に表示されるメッセージ

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

USBフラッシュメモリーを接続する

[USB TO DEVICE]端子に接続したUSBフラッシュメモリー(別売)に、ユーザーソングや楽器の設定などを、個別のファイルとして保存できます。保存したファイルは、あとで楽器本体に読み込むことができます。

ご注意

- USBフラッシュメモリーに対する操作を行う場合は、電源アダプターを使用してください。電池を使用すると、操作中に電源が切れてデータを失うおそれがあります。また機能によっては、画面上に「Use Adapter」と表示され、操作ができません。

NOTE

- USBフラッシュメモリー内のデータを再生したい場合は、「ソング(MIDIデータ)やオーディオファイルを再生する」(27、28ページ)をご覧ください。

[USB TO DEVICE]端子(USB Type-A)

ご使用上の注意

本機には[USB TO DEVICE]端子があります。

[USB TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

- USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■使用できるUSB機器

• USBフラッシュメモリー

上記以外のUSB機器(USBハブ、マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。動作確認済みUSB機器については、下記ウェブサイトの「資料/データ」で確認できます。機器を購入する前にご確認ください。

<https://manual.yamaha.com/mi/rt/psr-e483/downloads/>

本機では、USB1.1～3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なります。

ご注意

- [USB TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■USB機器の接続

[USB TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



ご注意

- USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(保存/コピー/削除/フォーマットなど)、およびUSB機器へのアクセス中には行わないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行ってください。
- USB機器の接続にケーブルは使わないでください。

ファイル名に使える文字

ユーザーソングなどのファイル名に使える文字は、半角英数字のみです。ファイル名に漢字やかなが含まれているファイルは認識されません。ただし、半角カタカナに限り、言語(35ページ、機能番号080)を「Japanese」に切り替えることで読み込めるようになります。

USBフラッシュメモリー内のファイル进行操作する

ご注意

- USBフラッシュメモリーをお使いになる前に、必ず「[USB TO DEVICE]端子(USB Type-A)ご使用上の注意」(29ページ)をご覧ください。

- 1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続し、画面右上に **USB** アイコンが点灯することを確認します。



- 2 [シフト] (SHIFT) ボタンを押したまま [機能] (FUNCTION) ボタンを押して、ファイルコントロール画面に入ります。



- 3 [ボイス] (VOICE)ダイヤルを回して操作項目を選びます。

必要に応じて、[スタイル] (STYLE)ダイヤルで、該当のデータを指定します。

ファイルコントロール操作一覧

番号	表示	操作
001	Save User	USBフラッシュメモリーにユーザーデータ(ユーザーファイル)を保存する
002	Load User	USBフラッシュメモリーからユーザーデータ(ユーザーファイル)を読み込む
003	Delete User	USBフラッシュメモリー内のユーザーデータ(ユーザーファイル)を削除する
004	Load Style	USBフラッシュメモリーからスタイルファイルを読み込む
005	Save SMF	USBフラッシュメモリーにSMFファイルを保存する
006	Delete SMF	USBフラッシュメモリー内のSMFファイルを削除する
007	Delete Audio	USBフラッシュメモリー内のオーディオファイルを削除する
008	Save Looper	USBフラッシュメモリーにルーパーデータを保存する
009	Load Looper	USBフラッシュメモリーからルーパーデータを読み込む
010	Delete Looper	USBフラッシュメモリー内のルーパーデータを削除する
011	Save Smp1	USBフラッシュメモリーにサンプルを保存する
012	Load Smp1	USBフラッシュメモリーからサンプルを読み込む
013	Delete Smp1	USBフラッシュメモリー内のサンプルを削除する
014	Import WAV	USBフラッシュメモリーからWAVファイルをサンプルとして読み込む
015	Format	USBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)する

NOTE

- ファイルコントロール操作の詳細手順は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアル(本書2ページ)をご覧ください。

- 4 [シフト] (SHIFT) ボタンを押したまま、[+/YES] ボタンを押して操作を実行します (**実行**)。

選んだ項目によっては、再度[シフト] (SHIFT) ボタンを押したまま、[+/YES] ボタンを押して操作を実行します。

- 5 「SaveOK?」や、「LoadOK?」などの確認画面が表示されたら、[+/YES] ボタンを押します。

キャンセルする場合は、[-/NO] ボタンを押します。

- 6 ファイルコントロール画面を抜けるには、[シフト] (SHIFT) ボタンを押します。

機能設定(FUNCTION)

チューニングやスプリットポイント、各ボイスやエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定です。設定したい項目を、機能リスト(31～35ページ)で見つけてから、下記の操作で設定します。

機能設定の基本操作

- 1 [機能] (FUNCTION)ボタンを押して、機能設定画面に入ります。



- 2 設定したい項目名、および機能番号が画面に表示されるまで[ボイス] (VOICE)ダイヤルを回します。



- 3 [スタイル] (STYLE)ダイヤルで、値を設定します。

[+ / YES]ボタンと[- / NO]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



- 4 [機能] (FUNCTION)ボタンを押して、機能設定画面から抜けます。

■機能リスト

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ対象
楽器全体					
001	テンポロック	Tempo Lock	On/Off	Off	
002	トランスポーズ	Transpose	-12 ~ +12	0	
003	チューニング	Tuning	427.0 Hz ~ 453.0 Hz	440.0 Hz	✓
004	ピッチバンドレンジ	PB Range	1 ~ 12	2	
005	スプリットポイント	Split Point	036 (C1) ~ 096 (C6)	054 (F#2/Gb2)	✓
006	タッチレスポンス	TouchRespons	1: Soft 2: Medium 3: Hard 4: Off	2: Medium	✓
メインボイス					
007	メインボイス音量	M. Volume	0 ~ 127	*	
008	オクターブ	M. Octave	-2 ~ +2	*	
009	パン	M. Pan	L63 ~ L01, C, R01 ~ R63	*	
010	リバーブの深さ	M. Reverb	0 ~ 127	*	
011	コーラスの深さ	M. Chorus	0 ~ 127	*	
012	アタックタイム	M. Attack	0 ~ 127	64	
013	リリースタイム	M. Release	0 ~ 127	64	
014	フィルターカットオフ	M. Cutoff	0 ~ 127	64	
015	フィルターレゾナンス	M. Resonance	0 ~ 127	64	

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ 対象
デュアルボイス					
016	デュアルボイス音量	D.Volume	0 ~ 127	*	
017	オクターブ	D.Octave	-2 ~ +2	*	
018	パン	D.Pan	L63 ~ L01、C、R01 ~ R63	*	
019	リバーブの深さ	D.Reverb	0 ~ 127	*	
020	コーラスの深さ	D.Chorus	0 ~ 127	*	
021	アタックタイム	D.Attack	0 ~ 127	64	
022	リリースタイム	D.Release	0 ~ 127	64	
023	フィルターカットオフ	D.Cutoff	0 ~ 127	64	
024	フィルターレゾナンス	D.Resonance	0 ~ 127	64	
スプリットボイス					
025	スプリットボイス音量	S.Volume	0 ~ 127	*	
026	オクターブ	S.Octave	-2 ~ +2	*	
027	パン	S.Pan	L63 ~ L01、C、R01 ~ R63	*	
028	リバーブの深さ	S.Reverb	0 ~ 127	*	
029	コーラスの深さ	S.Chorus	0 ~ 127	*	
スタイル					
030	スタイル音量	Style Volume	0 ~ 127	100	✓
031	フィンガリングタイプ	Fing. Type	1: Multi Finger (マルチフィンガー) 2: Smart Chord (スマートコード)	1: Multi Finger (マルチフィンガー)	✓
032	スタイルキー	Style Key	FL7 ~ FL1、SP0 ~ SP7 FL7(♯7個): C♯ Major/A♯ minor SP0(調号なし): C Major/A minor SP7(♯7個): C♯ Major/A♯ minor	SP0(調号なし): C Major/A minor	
033	コード進行	Chord Prog.	001 ~ 110	001	
ソング					
034	ソング音量	Song Volume	0 ~ 127	100	✓
035	ソングメロディーボイス	MelodyUcChg	001 ~ 860	**	
ルーパー					
036	ルーパーアンドゥ	Looper Undo	1: Last Event (最後に録音した単音) 2: Last Timing (最後に録音した和音) 3: Last Loop (最後に録音した1ループ)	1: Last Event	
037	ルーパー音量	LooperVolume	0 ~ 127	100	

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ 対象
エフェクト					
038	リバーブタイプ	Reverb	01 ~ 04: Hall 05: Cathedral 06 ~ 09: Room 10 ~ 12: Stage 13 ~ 15: Plate 16: Off	**	
039	リバーブレベル	Reverb Level	0 ~ 127	64	
040	コーラスタイプ	Chorus	1 ~ 3: Chorus 4 ~ 6: Flanger 7: Celeste 8: Off	**	
041	マスターEQタイプ	Master EQ	1: Standard 2: Bright 1 3: Bright 2 4: Mellow 1 5: Mellow 2	1: Standard	✓
マイク					
042	マイク音量	Mic Volume	0 ~ 127	マイクタイプによる	✓
043	パン	Mic Pan	L63 ~ L01, C, R01 ~ R63	マイクタイプによる	✓
044	リバーブの深さ	Mic Reverb	0 ~ 127	マイクタイプによる	✓
045	コーラスの深さ	Mic Chorus	0 ~ 127	マイクタイプによる	✓
サンプリング					
046	ブランクカット	Blank Cut	On/Off	On	✓
047	サンプリングパッド音量	Sampling Vol	000 ~ 127	100	
048	サンプリング同期再生	SamplingSync	On/Off	Off	
ハーモニー / アルペジオ					
049	ハーモニータイプ	Harmony	01 ~ 26	*	
050	ハーモニー音量	Harmony Vol	0 ~ 127	*	
051	アルペジオタイプ	Arpeggio	001 ~ 164	*	
052	アルペジオペロシティ	Arp Velocity	1: Original 2: Key	アルペジオタイプによる	
053	アルペジオクオンタイズ	Arp Quantize	1: Off 2: 1/4 3: 1/8 4: 1/16	アルペジオタイプによる	

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ 対象
ペダル					
054	フットスイッチ	Foot Switch	1: Sustain 2: Arpeggio Hold 3: Sustain+Arpeggio Hold 4: Articulation	1: Sustain	
スケールチューン					
055	スケール	Scale	1: Equal (平均律) 2: Pure Major (純正律長調) 3: Pure Minor (純正律短調) 4: Bayat (アラブ音律) 5: Rast (アラブ音律)	1: Equal (平均律)	
056	ベースノート	Base Note	01: C、02: C#/D♭、03: D、04: D#/E♭、 05: E、06: F、07: F#/G♭、08: G、 09: G#/A♭、10: A、11: A#/B♭、12: B	01: C	
057	チューニング対象ノート	Tune Note	01: C、02: C#/D♭、03: D、04: D#/E♭、 05: E、06: F、07: F#/G♭、08: G、 09: G#/A♭、10: A、11: A#/B♭、12: B	01: C	
058	チューニング	Tune	-64 ~ 63	スケールによる	
メトロノーム					
059	拍子(分子)	Time Sig Top	00 ~ 60	**	
060	拍子(分母)	Time Sig Btm	2 (2分音符) 4 (4分音符) 8 (8分音符) 16 (16分音符)	**	
061	メトロノーム音量	MetronomeVol	0 ~ 127	100	✓
MIDI					
062	ローカルコントロール	LocalControl	On/Off	On	
063	外部クロック	Ext Clock	On/Off	Off	
064	キーボードアウト	Keyboard Out	On/Off	On	
065	スタイルアウト	Style Out	On/Off	Off	
066	ソングアウト	Song Out	On/Off	Off	
067	イニシャルセンド	Initial Send	***	-	

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ 対象
オーディオ					
068	オーディオ入力音量 [AUX IN]	Aux In Vol	0 ~ 127	50	✓
069	オーディオ入力音量 [USB TO HOST][USB TO DEVICE]	USB In Vol	0 ~ 127	100	✓
070	オーディオループバック	Loopback	On/Off	On	✓
071	メロディーキャンセル	Melody Suppr	On/Off	Off	
072	メロディーキャンセルパン	MelSuppr Pan	L63 ~ L01、C、R01 ~ R63	C	
レジストフリーズ					
073	スタイルフリーズ	Style Freeze	On/Off	Off	✓
074	トランスポーズフリーズ	Trans Freeze	On/Off	Off	✓
075	ボイスフリーズ	Voice Freeze	On/Off	Off	✓
ストレージ					
076	ストレージモード	Storage Mode	On/Off	Off	
スピーカー					
077	スピーカー	Speaker	1: Phones Sw 2: Speaker On 3: Speaker Off	1: Phones Sw	
電源					
078	オートパワーオフ	AutoPowerOff	Disabled (無効)、 5/10/15/30/60/120 (分)	15 (分)	✓
079	電池選択	Battery	1: Alkaline (アルカリ乾電池/マンガン 乾電池) 2: Ni-MH (充電式ニッケル水素電池)	1: Alkaline (アルカリ乾電池/ マンガン乾電池)	✓
言語					
080	言語切替	Language	English (英語)/Japanese (日本語)	English (英語)	✓

* 音色の組み合わせごとに最適な設定値になっています。

** 現在選ばれている「スタイル」「ソング」「アルペジオ」ごとに最適な設定値になっています。

*** イニシャルセンドは、この楽器のパネル設定をコンピューターに送信する機能です。機能名が表示されている状態で [+ /YES] ボタンを押すと、すぐに実行されます。

バックアップと初期化

バックアップされるデータや設定

以下のデータや設定は、自動的にバックアップされるため、電源を切っても消えません。

随時バックアップされる内容

- ユーザーソング(25ページ)
- スタイル番号346~355に登録されたスタイルファイル*
- クイックサンプリングパッドに登録されたサンプル*
- ルーパーデータ*
- ユーザーコード進行データ*
- * リファレンスマニュアル(本書2ページ)参照

電源を切ったときにバックアップされる内容

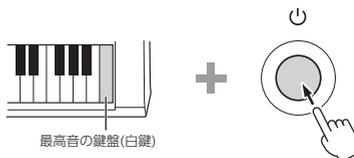
- レジストレーションメモリー(24ページ)
- 機能設定の各設定
機能リスト(31~35ページ)の「バックアップ対象」列にチェックマークが入っている設定がバックアップされます。

楽器を初期化する

バックアップされたデータを消去し、設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」と呼びます。

■バックアップクリア

バックアップされたデータや設定を初期状態に戻します。最高音の鍵盤(白鍵)を押したまま、[⏻] (スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



最高音の鍵盤(白鍵)

コンピューターなどから転送したファイルを消去する(フラッシュクリア)

バックアップクリアでは、コンピューターやスマートデバイスから転送したファイルは消去されません。これらのファイルを消去するには、フラッシュクリアを実行します。

⇒リファレンスマニュアル(本書2ページ)

困ったときは

現象	原因と対処法
[⏻] (スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。電源を入れるときは[全体音量](MASTER VOLUME)を最小にしてください。
[⏻] (スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたとき、電源がすぐ切れる。	過電圧保護機能が働いたためです。指定以外の電源アダプターを使用すると、電源を入れたときに電源がすぐに切れる場合があります。電源アダプターは必ず指定のもの(39ページ)をご使用ください。
この楽器の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)とき、本体スピーカーやヘッドホンから雑音が出る。	この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。雑音が出た場合は、携帯電話の電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	オートパワーオフ機能(13ページ)が働いたためです。電源が切れるまでの時間を変更するか、機能を解除してください。
<ul style="list-style-type: none">• 音量が小さくなった。• 音質が劣化した。• スタイル/ソング/アルペジオが勝手に止まる。• ソングなどの録音内容が、正しく演奏(再生)されない。• 突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。• USBフラッシュメモリーを接続すると電源が切れる。	電池が消耗しています。すべての電池を新品または充電が完了したものに交換するか、電源アダプターを使用してください。

現象	原因と対処法
鍵盤を押さえても音が鳴らない。 スタイル/ソングをスタートさせても音が鳴らない。	[PHONES]端子にヘッドホン、またはヘッドホン変換プラグが残ったままになっていないか、確認してください。 機能番号077「スピーカー」(35ページ)が「3 Speaker Off」に設定されています。「1 Phones Sw」または「2 Speaker On」に設定してください。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏んだまま電源を入れたり、電源が入った状態でフットスイッチの抜き差しをしたためです。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
鍵盤演奏をしているとき、同時に押さえた鍵盤で鳴らない音がある。また、スタイル/ソング/アルペジオ/ウィックサンプリングパッドの演奏音が途中で途切れることがある。	最大同時発音数(38ページ)を超えています。最大同時発音数を超えた場合は、前の音を消してあとの音を優先的に鳴らすしくみになっています。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	この楽器では、オリジナルの楽器の音を忠実に表現するために、鍵盤をいくつかに分けて楽器音をサンプリングしています。そのため、一部のボイスは、音域によって音質や音量が異なります。
鍵盤で弾いた音やスタイル/ソング再生音が、ひずんだり、リバーブが深くかかりすぎた状態になるなど、通常とは違うサウンドになったが、元に戻す方法がわからない。	ノブの操作などの影響で、意図しない設定になっています。これを元に戻すには、[グランドピアノ] (PORTABLE GRAND) ボタンを押すなどの方法で、パネル設定をリセットしてください。
[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押しても、ソング/スタイルがスタートしない。アルペジオをオンにして鍵盤を弾いても、アルペジオがスタートしない。	機能番号063「外部クロック」(34ページ)がオン(On)に設定されています。通常は外部クロックをオフ(Off)に設定しておきましょう。
スタイル/ソングの再生音量が小さい。	スタイル、ソングの音量は個別に設定できます(32ページ)。それぞれの音量が下がっていないか、設定内容を確認してください。
スタイル再生で、リズム(ドラム)パート以外の音が鳴らない。	スタイル(ACMP)がオンになっていません。シーケンサーコントロールの[スタイル] (ACMP) ボタンを押して、ボタンを点灯させてください。
特定のスタイルを選んでいるとき、[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押してもリズムが鳴らない。	リズムパートが入っていないスタイルです。シーケンサーコントロールの[スタイル] (ACMP) ボタンをオンにして、自動伴奏鍵域(23ページ)を弾くと、スタイルが再生されます。
楽器を操作しても楽器が反応しない。	機能番号076「ストレージモード」(35ページ)がオン(On)に設定されています。ストレージモードをオフ(Off)にしてください。
押さえたコードのとおりスタイルが鳴らない。	機能番号031「フィンガリングタイプ」(32ページ)の設定がコードの弾き方と合っていない。設定をご確認ください。コードの弾き方の詳細は、ウェブサイト上のリファレンスマニュアル(本書2ページ)をご覧ください。 機能番号005「スプリットポイント」(31ページ)の設定が不適切です。適切な位置に設定してください。

下記ウェブサイトの「よくあるお問い合わせ(Q&A)」もご確認ください。

それでも解決しない場合は、43ページに記載された「電子ピアノ・キーボードご相談窓口」へお問い合わせください。



<https://yamaha.io/faq-jp-pk>

仕様

品名		電子キーボード		
サイズ/質量	寸法	幅×高さ×奥行	992 mm × 136 mm × 404 mm	
	質量		7.0 kg (電池含まず)	
操作子	鍵盤	鍵盤数	61	
		タッチレスポンス	○ (ソフト、ミディアム、ハード、オフ)	
	その他の操作子	ピッチベンドホイール	○	
		ノブ	2	
パネル	言語	英語 (和文シート)		
音源/ボイス	音源	音源方式	AWMステレオサンプリング	
	最大同時発音数		64	
	プリセット	ボイス数	860 (322パネル音色+40ドラム/SFXキット+40アルペジオ音色+458XGlite音色)	
	対応フォーマット		GM, XGlite	
効果	タイプ	DSP	DSP 1: 41 + DSP 2: 12	
		リバーブ	15	
		コーラス	7	
		マスター EQ	5	
伴奏スタイル	プリセット	スタイル数	345	
		フィンガリング	マルチフィンガー、スマートコード	
		スタイルコントロール	スタイルオン/オフ、シンクロスタート、シンクロストップ、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/リタルダント、メイン(A、B)/フィルイン、トラックオン/オフ	
	外部スタイル		10	
	その他特長	ワンタッチセッティング (OTS)		○
		オートコードプレイ		100コード進行 + 10ユーザー
対応フォーマット			スタイルファイルフォーマット (SFF)	
録音/再生 (MIDIソング)	プリセット	内蔵曲数	2	
		曲数	10	
	録音	トラック数	6 (5×ロディー + 1スタイル)	
		データ容量	約19,000音符 (10曲合計)	
	フォーマット	再生	SMF (フォーマット0、フォーマット1)	
録音		オリジナルフォーマット (SMFフォーマット0 変換機能あり)		
USBオーディオレコーダー	録音時間(最大)		1曲につき80分 (約0.9 GB)	
	フォーマット	再生	WAV(44.1 kHz、16-bit、ステレオ)	
		録音	WAV(44.1 kHz、16-bit、ステレオ)	
クイックサンプリング	サンプリングタイプ		ワンショット、ループ	
	サンプル数(プリセット/ユーザー)		4	
	サンプリング時間		約9.6秒/サンプル	
	サンプリングソース		AUX IN、MIC INPUT、USBオーディオインターフェース、WAVファイル	
	サンプリングフォーマット		オリジナルフォーマット(16-bit、ステレオ)	
サンプリング周波数			44.1 kHz	
ファンクション	ボイス	デュアル	○	
		スプリット	○	
		ハーモニー	26	
		アルペジオ	164	
		アーティキュレーション	○ (15スーパーアーティキュレーションライトボイス)	

ファンクション	レジストレーション メモリー	ボタン数	4 (×8/バンク)
		コントロール	リリース
	全体設定	メトロノーム	○
		テンポ	11 ~ 280
		トランスポーズ	-12 ~ 0 ~ +12
		チューニング	427.0 ~ 440.0 ~ 453.0 Hz (約0.2 Hz単位)
		オクターブボタン	○
		スケール(音律)	5
	その他	ピアノボタン	○
		デモ	○
		メロディーキャンセル	○
		USBオーディオインター フェイス機能	44.1 kHz、16-bit、ステレオ
		モーションエフェクト	57
		ルーパー	○
メガブースト		2 段階 (約+3 dB、約+6 dB)	
メモリー / 接続端子	メモリー	内蔵メモリー	約1.72 MB
		外付けメモリー	USBフラッシュメモリー
	接続端子	DC IN	12 V
		ヘッドホン	ステレオ標準フォーン端子
		マイク	モノラル標準フォーン端子
		Foot Switch	Sustain, Arpeggio Hold, Sustain+Arpeggio Hold, Articulation
		AUX IN	ステレオミニ端子
		OUTPUT	標準フォーン端子：L/L+R、R
		USB TO DEVICE	USB Type-A
		USB TO HOST	USB Type-C™
音響	アンプ出力	6 W × 2	
	スピーカー	12 cm × 2	
電源部	電源	電源アダプター	PA-150、またはヤマハ推奨の同等品 (出力：DC 12 V、1.5 A)
		電池	単3電池 (アルカリ乾電池/マンガン乾電池/充電式ニッケル水素電池) × 6 (別売)
	消費電力	13 W (電源アダプター PA-150C使用時)	
	待機電力	0.3 W (電源アダプター PA-150C使用時)	
	電池寿命	アルカリ乾電池で約9時間、 充電式ニッケル水素電池で約6時間	
	オートパワーオフ	○ (無効/5/10/15/30/60/120 分)	
付属品	<ul style="list-style-type: none"> 取扱説明書(本書) 譜面立て 電源アダプター (PA-150またはヤマハ推奨の同等品) 和文シート 		
別売品	<ul style="list-style-type: none"> キーボードスタンド (L-2C/L-2L) ヘッドホン (HPH-150/HPH-100/HPH-50) フットスイッチ (FC4A/FC5) ワイヤレスMIDIアダプター (UD-BT01) キーボードソフトケース (SC-KB650) 		

※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

- A**
ACMP..... 16, 23
- D**
DSP..... 5, 15
- M**
MIDI..... 27
MIDI Song to Style..... 5
MIDI入門..... 2
MIDI録音..... 25
- O**
OTS..... 21
- R**
Rec'n'Share..... 5
- U**
USB TO DEVICE..... 29
USB TO HOST..... 18
USBフラッシュメモリー..... 4, 18, 28, 29
- ア**
アーティキュレーション..... 14
アルペジオ..... 5, 15, 33
- イ**
イントロ..... 23
- エ**
エフェクト..... 15
エンディング..... 23
- オ**
オーディオファイル..... 26, 27
オーディオ録音..... 25
オートコードプレイ..... 4, 22
オートパワーオフ..... 13
音量..... 14
- カ**
外部クロック..... 34
画面..... 19
- キ**
機能設定..... 31
- ク**
クイックサンプリング..... 5, 17
グランドピアノ..... 16
- ケ**
言語..... 35
- コ**
コード..... 23
コーラスタイプ..... 33
困ったときは..... 36
コンピューター..... 5, 18
- サ**
サンプリング..... 33
- シ**
自動伴奏鍵域..... 23
シフト..... 14
仕様..... 38
初期化..... 36
シンクロ..... 15
- ス**
スーパーアーティキュレーション
ライトボイス..... 5
スケールチューン..... 34
スタイル..... 4, 22, 32
スタイルカテゴリー..... 16
スプリットボイス..... 21, 32
スプリットポイント..... 21, 23, 31
スマートコード..... 23
スマートデバイス..... 5, 18
スマートデバイス接続マニュアル..... 2
- ソ**
ソング..... 27, 32
ソングカテゴリー..... 27
ソングデータ..... 2
ソングブック..... 2
ソング録音..... 25
- タ**
タッチレスポンス..... 31
- チ**
チューニング..... 31
- テ**
データリスト..... 2
デモソング..... 16
デュアルボイス..... 21, 32
電源..... 12
電源アダプター..... 12
電池..... 12
テンポ..... 19
- ト**
動画マニュアル..... 2
トラックコントロール..... 17
トランスポーズ..... 31
- ノ**
ノブ..... 15
- ハ**
ハーモニー..... 15, 33
バックアップ..... 36
- ヒ**
ピッチバンド..... 5, 17
ピッチバンドレンジ..... 31
- フ**
フィルイン..... 23
フィンガリングタイプ..... 15, 32
付属品..... 2
譜面立て..... 13
- ヘ**
ヘッドホン..... 18
- ホ**
ボイス..... 4, 21
ボイスカテゴリー..... 16
- マ**
マイク..... 5, 18, 33
マスターEQタイプ..... 33
マルチフィンガー..... 23
- メ**
メインA/B..... 23
メインボイス..... 21
メガブースト..... 5, 15
メトロノーム..... 15, 34
- モ**
モーションエフェクト..... 5, 15
- ユ**
ユーザーソング..... 25
- リ**
リバーブタイプ..... 33
リファレンスマニュアル()..... 2
- ル**
ルーパー..... 5, 15
- レ**
レジストレーションメモリー..... 4, 24
- ロ**
ローカルコントロール..... 34
録音..... 4, 25, 26
- ワ**
ワンタッチセッティング..... 21

オープンソースソフトウェアのご案内

本製品のファームウェアにはオープンソースソフトウェアが含まれています。
各オープンソースソフトウェアの著作権情報と使用条件は、下記ウェブサイトの「資料/データ」から確認できます。

サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

メモ

製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のおお客様コミュニケーションセンターにご連絡ください。

◆ お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

フリーダイヤル



0120-139-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4079

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)



ヤマハ楽器音響製品お客様サポート
LINE公式アカウント

修理に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターにご連絡ください。

※修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

FAX

- 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) : 03-5762-2125
- 西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) : 06-6649-9340

◆ 修理品お持ち込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

● 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜E棟-5F
FAX 03-5762-2125

● 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◆ ウェブサイトのご案内

- ・ ヤマハ株式会社のホームページ <https://jp.yamaha.com/>
- ・ ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト <https://jp.yamaha.com/kbd/>
- ・ ヤマハ サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>
- ・ Sheet Music Store <https://sheetmusic.jp.yamaha.com/>

保証とアフターサービス

サービスのご依頼やお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはこの取扱説明書(以下本書)に記載の修理ご相談センターにご連絡ください。本書は、保証書の役割を兼ねています。購入を証明する書類(領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの)とあわせて、大切に保管してください。保証期間内に万一本製品が故障した場合には、購入を証明する書類をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。下記の保証規定に基づいて無料修理を行うことをお約束します。

[持込修理]

保証書					
製品名	電子キーボード	品番	PSR-E483	製造番号	
お買い上げ日	年	月	日		
保証期間	(お買い上げ日から) 本体/電源アダプター：1年間				
販売店名					

保証規定	
保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、本保証規定に基づき無料修理いたします。	
<p>■ 保証期間中でも以下の場合は有料となります。</p> <ul style="list-style-type: none">購入を証明する書類(領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの)のご提示がない場合納品後、輸送や修理時の取り扱いが適当でないために生じた故障の場合提供されている各説明書や本規定に記載の注意事項に反する取り扱いによって発生した故障の場合故障の原因が本製品以外の機器にある場合塗装面および金属面が経年変化により退色、変色した場合弊社認定の修理サービス技術者以外の者が修理/改造した部分で、その修理/改造が不相当であった場合火災、地震、水害、落雷、その他の天災および公害や電圧異状による故障の場合鼠害、塩害などによる故障、損傷の場合持込修理対象の品番でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金	<p>■ 転居・譲渡などを伴う場合、その他注意事項</p> <ul style="list-style-type: none">転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、修理ご相談センターにご相談ください。離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行う場合の交通費は実費を申し受けます。保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合でも、残存期間は保証いたします。本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only within Japan.)
この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにお問い合わせください。	

● 保証期間経過後の修理

修理が可能な場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例: ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

本製品に異常が見られた場合は、まず本書の「困ったときは」をよくお読みの上、本製品の状態をお調べください。それでも改善しないときは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

販売元: 株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号 横浜シンフォステージ ウェスタワー

* 名称、住所は変更になる場合があります。

© 2025 Yamaha Corporation

2025年10月発行 IPIN-AO

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町1-10



VHV0380